

2012 奈良県公立学校
教員募集
のご案内



わたしたちの心をうけとめて！

奈良県教育委員会



斑鳩 成
子どもと共に歩み
信じ合い、
生まれる絆



奈良県はこんな先生を求めています。

- 使命感にあふれ、愛情をもって行動できる人
- 豊かな人間性をもち、児童・生徒との信頼関係が築ける人
- 深い専門知識に裏付けられた実践的な指導ができ、
地域社会との連携が進められる人

斑鳩町立斑鳩中学校
保健体育科
平成22年度採用
大橋佳代子



子どもの心と向き合うことは
 自分の心と向き合うこと
 成長できた分だけ
 視野も広がり絆も生まれる



奈良県学校教育の指導方針

学校教育の目標

日本国憲法、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、人権を尊重する民主的な社会の形成者として、豊かな人間性と創造性をそなえた国民の育成を目指す。

具体目標

- 基礎的な知識・技能を習得させ、学んだことを活用する力を育成するとともに、主体的に学ぶ態度を養う。
- 真理を求め、生命を尊び、自然を愛し、崇高なものに感動する心を育てる。
- 正しい判断力と強い意志を養い、規範意識を高め、自律的な生活態度を育てる。
- 勤労観・職業観を養い、主体的に進路を選択する能力を育てる。
- 自他敬愛に基づく人間関係を深め、社会連帯の精神と社会に貢献する態度を養う。
- 郷土や自国に対する理解と愛情を培い、国際理解を深めることを通して、互いに尊重し合う態度を育てる。
- 健康な生活習慣を養うとともに、自発的・自主的な体育的活動をすすめ、たくましい心身を育てる。

子どもと絆が



奈良市立三笠中学校 英語科
平成22年度採用 綾部 円香

自分から心を開く

「先生！なんで日本語と英語で、順番が違うの？」「ジェスチャーゲームが楽しい！またしたい！」これは、生徒からもらった、大変嬉しい声です。

教員になり、もうすぐ1年が経とうとしています。教員になってから一貫して思うことは、「授業をしているときに、一番楽しい！」ということです。どうしたら生徒に分かりやすい授業ができるのか、教材研究で悩むことが多々あります。しかし、悩めば悩んだ分だけ、生徒はたくさん声で返してくれます。休み時間も、生徒はたくさん声をかけてくれます。それは、授業を通して築けた目に見えない絆だと感じています。私は生徒と接するとき、率先して自己開示を心がけています。「先生は、週末にこんなことをしていたよ。みんなは？」

生徒の心を開くには、まず、自分が心を開くという姿勢を大切にして、生徒との絆を強く築ける教員でありたいと思います。



奈良市立東市小学校
平成22年度採用 竹田 光陽

情熱をもち、笑顔で

もうすぐ小学校の教師となって、1年が過ぎようとしています。

「情熱をもち、笑顔で」

これが、私の教師生活を支えている志です。また、さまざまな事に悩んでいる時に、「大丈夫か。」と、そっと声をかけてくださる、たくさんの頼りになる先輩の先生方がいたからこそ、ここまで頑張ってきたと強く思います。

子どもたちは、さまざまな顔を見せます。「嬉しい顔、悲しい顔、悔しそうな顔、楽しい顔」毎日、一人一人がさまざまな想いを抱いて、学校に登校してきます。

授業も大切ですが、私は子どもたちとのふれあいを大切にしています。忙しい毎日ですが、どんな時間でも子どもたちと目と目を合らし、会話を交わしています。

教師生活が2年目に入ろうとしています。ふれあいの中で生まれる子どもたちとの絆を大切に、

「情熱をもって、笑顔で」

これからも続けていきたいと考えています。



香芝市立下田小学校
平成22年度採用 塚原 祐衣

子どもたちを見守り、メッセージを送り続ける

「おはようございます。」「先生聞いて。」という元気な声から、私の学校生活が始まります。

しかし、時々表情の暗い子どもたちや、元気のないまま登校する子どもたちもいます。表情は、心の状態を表します。小さな変化を見逃さないために、目で見、耳で聞き、手で触れ、心で感じることによって心がけて、この1年間、全身全霊で子どもたちと向き合ってきました。

なかなか心が通じ合えず、悩むこともありますが、二人で話し合ったり、休み時間に遊んだりしているときに、心が通じ合ったと感じる瞬間があります。

一方で、子どもたちも先生は自分のことをきちんと見てくれているのか、注意深く見えています。できたときは思いっきりほめ、困っているときは「大丈夫？」という声をかけ、きちんと見守っているよというメッセージを送り続けることが大切だと、子どもたちから学びました。

これからも、子どもたちからのSOSやメッセージを見逃さないよう、一人一人に寄り添い、子どもたちを大切にできる教員でありたいと思っています。



生まれたとき!!

色々大変で、悩んだりもするけれど
子どもたちと絆が生まれたとき
すべての思いは感動に変わります

生徒と正面から向き合う

奈良県立奈良朱雀高等学校 理科(生物)

平成22年度採用 山本 彩華

授業や部活動を通して、生徒が「あ、わかった!」「こんな事ができるようになった!」と自信をつけ、成長していく道のりを、共に歩めることができる教員となって1年が経ちました。慌ただしくあっという間に過ぎていく日々の中で、生徒の明るさや元気にずいぶん元気づけられました。

しかし、多くの生徒と接する中で、声が届かず、そっぽを向いてしまう生徒もいました。どうすればこちらを向いてくれるのか、自分の力不足に悩み、落ち込むことが多々ありました。

それでも明るく笑顔で声をかけ続け、正面から向き合うようにしていると、生徒が少しずつ話をしてくれるようになりました。今までそっぽを向いていた生徒が、「先生、今日、元気ないの?」と私を気にして声をかけてくれたとき、少し心を開いてくれたのかなと思いました。

これからも感動することや悩むことなど、いろいろあると思いますが、生徒と正面から向き合い、気持ちを通わせながら笑顔で共に成長できる教員でありたいと思います。



無我夢中

大和郡山市立郡山中学校 社会科

平成22年度採用 森本 桂伍

「無我夢中」

この言葉がぴったりの1年でした。初めての担任、初めての部活動顧問、いろいろなことに真剣に悩みながら、同期・先輩の先生方に支えていただき、何とか前に進むことができました。

生徒は日々成長し、一日ごとに表情を変えて登校します。その中でも、昨日より明るい表情で挨拶を返してくれたり、集中して頑張っている姿を見たりすると、些細なことだと思っていたできごとでも、今まで以上に喜びを感じました。

部活動における3年生最後の大会は、生徒が試合を重ねることに、私の想像を超えた成長を見せてくれ、自分がプレーをしていた時よりもはるかに感動する大会となりました。3年生が引退の時、「ありがとうございました。」と涙ながらに言ってくれた言葉は、一生忘れません。

教師となり、自分を大きく見つめ直す1年となりました。生徒と共に成長できる教師という仕事に生き甲斐を感じながら、これからも全力で取り組んでいきたいと思っています。



子どもたちを愛し続ける

奈良県立大淀養護学校

平成22年度採用 塚本 実希

私はこの1年間、子どもたちの笑顔を毎日見ることができ、充実した日々を送ることができました。

「せんせー。」と目を輝かせて呼んでくれる子どもたち、「一緒に遊ばー!」と手を引きにきてくれる子どもたち、たくさんお話をしてくれる子どもたちなど、子どもたちからの関わりから繋がるのがどんどん増えてきました。時には、子どもたちが何を伝えようとしているのか分からない時もありましたが、あきらめることなく伝えてようとしてくれる姿に、私自身も分かり合えるまで頑張ろうという気持ちになります。伝えたいことが分かったとき、子どもたちと共に笑い合い、通じ合えたことを喜ぶことができました。

子どもたちに真正面から向き合い、共に笑ったり、時に怒ったり、共に泣いたり...どんなことでも受け入れ、受け止めること、それが「子どもたちを愛する」ということだと思います。私が愛し続けることで、子どもたちも愛情を返してくれます。そして、固い絆となりました。これからも、子どもたちを愛し続けようと思います。



「愛の心」をもつて

静かに目を閉じ、あなたが子どもの頃に出会った先生のことを思い出してください。ていねいに分かりやすく教えてくださった先生、悩みを親身になって聞いてくださった先生、共に汗を流してくださった先生……。先生の思いや言動に、勇気づけられたり、励まされたり、将来の夢を抱かせてもらったり、そんな経験がきっとあるはずです。そして、あなたは、今、先生になろうとしています。

人は、愛なしには生きていけません。そして、この「人」という言葉は、「教育」に置きかえることもできます。教育は、人に対する「愛」を基盤として行われなければなりません。子どもは誰しも「誰かに認められている、愛されている」ということで心の安らぎを感じ、自尊感情が高まります。思いやりの気持ちは、このような心の安らぎ、自尊感情からはぐまれるものです。

「愛」とは、大切に思うこと。私は「愛」を基盤として、知力・体力・忍耐力を身に付けて、正々堂々と生きる子どもを育てたいと思っています。

こうしたことを実現するには、一人一人の先生が子どもたちと、一緒になって汗を流し、時に失敗やつまずきに涙し、時に子どもたちの悩みを親身になって考え、そして、未来に夢を描いていく。このようなかかわりを通して、人と人との真の絆が築かれていくと確信しています。

私は、本県の教員を目指すみなさんに大事にしてもらいたい、実行してもらいたい三つの言葉を贈ります。



奈良県教育委員会教育長
富岡 将人

○「愛の心」

子どもたちの成長に寄り添い、子どもたちを健やかにほぐすため、潤れることのない「愛の心」をもっていただきたい。

○「情熱」

教育の理想に真摯に向き合い、謙虚に、そして、あなたの教育に懸ける「情熱」を、いつまでも絶やすことなく持ち続けていただきたい。

○「絆」

子どもたちはもちろん、保護者、地域の方々とも深い「絆」(信頼関係)をしっかりと築いていただきたい。

学校は「学びの場」です。そこにはいくつもの「知る感動」があります。あなたが子どもたちと深くかかわった分だけ、瞬間(とき)を共にした分だけ、また、共に成長した分だけ教員として「教える感動」があります。

「子どもたちの夢」が「あなたの夢」となり、子どもたちもあなたも本当の成長が実現するものと確信します。

奈良県の教員を目指すみなさん！

「愛の心」をもって、私たちと一緒に、知力・体力・忍耐力を身に付けて、正々堂々と生きる子どもを育てましょう。



奈良県公立学校教員採用候補者選考試験の結果

	出願者数		受験者数 A		第1次合格者数 B		第1次免除者数 C		第2次受験者数 B+C		第2次合格者数 D		採用予定者数		合格倍率 A/D	
	平成22年	平成23年	平成22年	平成23年	平成22年	平成23年	平成22年	平成23年	平成22年	平成23年	平成22年	平成23年	平成22年	平成23年	平成22年	平成23年
小学校	822	955	746	850	278	296	53	76	331	372	195	220	190	220	3.8	3.9
中学校	1039	871	888	762	147	185	44	41	191	226	96	130	90	130	9.3	5.9
高等学校	348	570	282	477	65	99	7	19	72	118	39	60	35	60	7.2	8.0
特別支援学校	141	141	125	121	46	49	6	11	52	60	33	38	35	38	3.8	3.2
養護教諭	83	98	68	84	7	19	2	3	9	22	3	10	3	10	22.7	8.4
栄養教諭		60		51		6		0		6		3		3		17.0
合計	2433	2695	2109	2345	543	654	112	150	655	804	366	461	353	461	5.8	5.1

※平成22年度の出願者数・受験者数・合格者数は、併願受験者を含む。高等学校の採用予定者数には、平成22年度・23年度とも奈良市・大和高田市採用の5人を含む。

あなたをサポートするための充実した制度

初任者研修

初任者研修は、新任教員に対して、教育公務員特例法第23条及び附則第4条の規定に基づいて、現職研修の一環として、1年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得ることを目的としています。



○辞令交付式・教育長講話

辞令交付の後、「新任教職員に期待するもの」と題して、教員としての使命感を中心とした教育長の教育に対する熱き思いがひしひしと伝わる講話があります。



○様々な研修

新任教員として、教科指導や学級経営、生徒指導、人権教育等の実践的指導力や使命感を養い、幅広い知見を得るとともに、組織の一員として学校で活躍できるための研修が用意されています。



福利厚生制度

毎日の暮らしが安定していると、安心して仕事にも熟中することができます。公立学校共済組合では、さまざまな制度や設備によって、あなたの生活をバックアップします。



奈良宿泊所「春日野荘」全景

公立学校共済組合

長期給付事業

退職共済年金、障害共済年金、遺族共済年金等の給付。

福祉事業

結婚、住宅資金等の貸付、人間ドック、健康づくりセミナー等の健康管理、施設利用補助等の厚生事業。

短期給付事業

結婚、出産、療養等への給付、組合員証（健康保険証）の交付。

宿泊事業

宿泊、会議、会合、結婚式等に気軽にしかも安心して利用できる「春日野荘」を用意。



We need you!!

教員採用候補者選考試験のご案内

平成24年度の奈良県公立学校教員採用候補者選考試験および任用については、下記の要領で実施します。
なお、詳細は、5月中旬に交付予定の「平成24年度奈良県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項」を参照してください。

出願から任用までのスケジュール（予定）

願書受付	平成23年5月中旬
第一次試験	7月中下旬
第一次試験結果通知	8月中旬
第二次試験	8月下旬
第二次試験結果通知	9月下旬
赴任校内定	平成24年3月末
採用	平成24年4月1日

給与（初任給）

●採用時の給与（月額）は下記のとおりです。給与は経歴その他により異なります。

	大学卒（円）	短大卒（円）
小・中学校	211,488	187,588
県立高等学校	211,488	184,888
盲・ろう学校 養護学校	224,967	196,679

（平成23年4月現在）

このほか、地域手当、通勤手当、扶養手当、住居手当、期末勤続手当等の諸手当がそれぞれの支給要件に応じて支給されます。

講師募集のご案内

平成24年度奈良県公立学校講師も同時募集します。
詳細は教職員課まで、お問い合わせください。

奈良県教育委員会事務局教職員課

〒630-8502 奈良市登大路町30番地 tel.0742-27-9844(直通)